

都市再生整備計画 事後評価シート

布袋地区









平成26年3月

愛知県江南市

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 愛知県 | 市町村名 | 江南市 | 地区名 | 布袋地区 | | | 面積 | 150ha | | | | |
|--------------------------------------|---|---|--|--------------------------|--|----------|--------|------|---------|------------|--|--|---------|
| 交付期間 | 平成21年度～平成25年度 | | 事後評価実施時期 | 平成25年度 | | 交付対象事業費 | 890百万円 | 国費率 | 0.4 | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 道路(都市計画道路布袋本町通線、市道南部第231号線、市道南部第186号線) | | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | 地域創造支援事業(公共下水道事業、緑地整備事業)、事業活用調査(土地有効活用調査、事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(啓発研修活動事業) | | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | なし | | | 削除/追加の理由 | | | - | | | | |
| | | 提案事業 | なし | | | - | | | - | | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 | なし | | | - | | | - | | | | |
| | | 提案事業 | なし | | | - | | | - | | | | |
| 交付期間の変更 | 当初 | 平成21年度～平成25年度 | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | | - | | | | | | |
| | 変更 | なし | | - | | | - | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | |
| | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | | |
| | 指標1 | まちの賑わい満足度 | % | 9 | H18 | 16 | H25 | 10 | 15.3 | △ | あり | ● 道路事業をはじめ、公共下水道や緑地の整備等都市基盤の整備が順調に進捗しているものの、長期にわたり実施する事業が多いため、事業効果が実感として十分に伝わらず、まちの賑わい満足度の目標達成には至らなかった。しかし、まちづくりイベントへの一般参加者も増加傾向を見せるなど、まちの賑わいが形成されつつある。 | 平成27年5月 |
| | 指標2 | 防災エリア率 | % | 70 | H19 | 80 | H25 | 76.2 | 79.3 | △ | あり | ● 土地区画整理事業や布袋保育園周辺の道路整備により、狭隘道路や老朽密集住宅の解消がされた(緊急車両が通れるような道路が整備された)が、当初の見込みに対してわずかに整備にいたらなかった箇所があったため目標は達成できなかった。 | 平成26年5月 |
| | 指標3 | まちづくり活動参加延べ人数 | 人 | 587 | H19 | 690 | H25 | 649 | 750 | ○ | あり | ● 鉄道高架化事業を始め、関連する駅周辺整備を契機としてまちづくり活動が活性化するなど、地域住民のまちづくりに対する関心が高まっている。 ● 啓発研修活動事業によるアドバイザー派遣、講演会やワークショップの開催、まちづくり活動実施団体が新設されるなど、地域住民のまちづくりへの関心が高まり、まちづくり活動に参加する機会が増え、参加人数が増加した。 | 平成26年5月 |
| 指標4 | 建築促進数 | 件 | 52 | H19 | 280 | H25 | 173 | 288 | ○ | あり | ● 鉄道高架化事業を始め関連する都市計画道路事業や土地区画整理事業等の基盤整備により駅周辺の居住環境が改善されるとともに、これらの利便性向上が今後も期待されることから建築促進数が増加した。 | 平成26年5月 | |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度※1 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | |
| | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | | |
| その他の数値指標1 | | | | | | | | | | | | | |
| 4)定性的な効果発現状況 | <ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画道路布袋本町通線は、土地区画整理事業での整備箇所と接続することにより駅へのアクセスが向上し、交通結節点の改善がされる見込みである。 ● 布袋保育園周辺での狭隘な道路を解消することにより防災性や利便性が向上し、土地の有効活用が期待される。 ● 公共下水道の整備により住民の衛生的で快適な生活環境が確保された。 ● 緑地整備により憩いとゆとりが感じられる空間が確保された。 ● 土地有効活用調査によって地区内の低未利用地の状況を確認し、大規模な未利用地については活用方策を民間事業者へ提案することにより有効活用へつなげた。 ● 地域の住民によるまちづくり活動の活性化により「まちあるきマップ」の作成やイベントが開催されて、まちの魅力が外部に発信された。 | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | 実施内容 | 実施状況 | | 今後の対応方針等 | | | | | | | | | |
| | モニタリング | まちづくり活動実施団体による客観的・地元主体の評価を実施する。 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | ● | 指標および事業進捗を継続して評価し、その結果の説明や確認を行っていく。 | | | | | | | | |
| | 住民参加プロセス | ・まちづくり活動実施団体等と定期的な会合を行う。 ・まちづくり活動実施団体の活動を支援し充実させる。 | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | ● | ● 鉄道高架化事業をはじめ、都市基盤整備については、継続して各まちづくり活動団体の意向を反映し事業を推進する。 ● まちづくり活動実施団体を継続的に支援することにより活動の継続・充実を図る。 | | | | | | | | |
| 持続的なまちづくり体制の構築 | 整備される公共施設(道路、公園、駅前広場等)の維持管理についての協働体制を確立する。 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | ● | ● 住民主体の公共施設の清掃美化活動を推進する。 | | | | | | | | | |

様式2-2 地区の概要

| 布袋地区(愛知県江南市) 都市再生整備計画事業の成果概要 | | | | | | | | | |
|---|--|---------------|-------|---|-----|-----|-----|------|-----|
| まちづくりの目標 | | 目標を定量化する指標 | | 従前値 | | 目標値 | | | |
| 大目標: 鉄道高架を見据えた公共施設の整備及び密集住宅の解消により活気あるまちの再生・再構築を行う。 目標1: 交通結節点の改善 目標2: 安心・安全な生活環境の確保 目標3: 住民協働による活気あるまちづくり | | まちの賑わい満足度 | 単位: % | 9 | H18 | 16 | H25 | 15.3 | H25 |
| | | 防災エリア率 | 単位: % | 70 | H19 | 80 | H25 | 79.3 | H25 |
| | | まちづくり活動参加延べ人数 | 単位: 人 | 587 | H19 | 690 | H25 | 750 | H25 |
| | | 建築促進数 | 単位: 件 | 52 | H19 | 280 | H25 | 288 | H25 |
| 道路事業「都市計画道路布袋本町通線」 布袋本町通線の整備により、布袋駅への交通結節機能が向上される。 整備前  ※現在整備中  | | | | 事業活用調査「土地有効活用調査」 土地有効活用調査を契機として民間事業者による事業を提案し、低未利用地の有効利用が図られた。 愛北病院跡地  | | | | | |
| 道路事業「市道南部第231号線」 市道南部第231号線の整備により、布袋保育園周辺の狭隘道路が解消された。 整備前  整備後  | | | | まちづくり活動推進事業「啓発研修活動事業」 ワークショップの開催により、地域住民のまちづくりへの関心が高まり、まちづくりイベントを開催した。その結果まちの賑わい創出や、まちの魅力が再発見された。 ワークショップ風景  | | | | | |
| 地域創造支援事業「緑地整備事業」 2号緑地の整備により、緑地空間の確保及び居住環境や防災性の向上が図られた。 2号緑地  | | | | まちあるきイベント  | | | | | |
| まちの課題の変化 ・「鉄道高架に向けた交通結節点機能向上に関する整備」の課題については、道路事業・土地区画整理事業・鉄道高架化事業等の一体的な都市基盤整備が図られることで、地区の利便性等が向上し、住居等の建築確認申請件数が増加したものの未解決の課題もあり、交通結節点機能向上に関する事業については鉄道高架化事業の完成にあわせて事業が多いため、まだ整備状況は十分な状態ではない。また地区の利便性が高まる中で、狭隘道路や浸水被害等の問題を抱える地域が存在するため、その解消の必要がある。 ・「将来の鉄道高架に伴う拠点性の向上を実現するためのまちづくり活動」の課題については、住民によるまちづくり活動が活性化するなか、「魅力と活力あるまちづくり」に繋げていくためには、地域のまちづくり活動と一体的にまちなみの活用やまちあるきの展開を図ることが有効であり、地区の歴史的・地域資源などと調和したまちなみ景観整備が必要である。 ・「将来の鉄道高架に伴う拠点性の向上を実現するための民間事業の促進」の課題については、土地有効活用調査による低未利用地の調査や民間事業者への活用方策の提案を契機に、利用方法が決まっていなかった病院跡地の住宅地への土地利用転換が進んだ。 | | | | 今後のまちづくりの方策 (改善策を含む) 効果を持続させるために行う方策 ・人口定着のさらなる促進: 道路事業、鉄道高架化事業、土地区画整理事業等の都市基盤整備事業のさらなる推進を図り、安心・安全な暮らしやすいまちづくりを展開する。 ・住民主体のまちづくり活動の促進: 住民主体のまちづくり活動について、自主性を尊重した継続的な支援を行う。 ・低未利用地の活用促進: 都市基盤未整備地区における道路整備等を推進し、低未利用地の活用促進を図る。 改善策 ・鉄道高架の推進と交通結節点の改善: 鉄道高架化事業を推進するとともに関連する駅へのアクセス道路、駅前広場等の整備により利便性の向上を図る。 ・安心・安全な生活環境の確保: 狭隘な道路を解消する道路事業等と始めた都市基盤整備により生活環境の充実を図る。 ・地区内の浸水被害を解消するため、雨水排水対策施設整備を行う。 ・地域資源を生かしたまちづくり: 住民のまちづくり活動と連携して、地区内の古い町並み等の地域資源を生かした景観整備を行うことにより、新たなまちの賑わいを創出する。 | | | | | |